

会社概要

企業理念

● 一本の大きな木を育てるより、多くの個性ある木を育て、美しい森をつくる。

イノアックは「暮らしをもっと豊かにしたい」という思いから、ひとつの事業に特化することなく、ウレタン・ゴム・プラスチック・複合素材という4つの苗をもとに、多くの事業(=木)を育て、企業体として多彩な製品、サービスを作り出し、社会へ貢献して参りました。イノアックはこれからも多くの個性ある木を育てることで、時代のニーズにお応えしていきます。

《Innovation&Globalization》

イノアックは高分子化学で世界をリードし、迅速な決断と行動で、活気と個性に満ちたグローバル集団を目指します。それと共に「行動指針」を定め、社内外ともに裏表のない行動で「企業理念」を確実に実行・実現することで、地域社会、顧客、イノアックに関わる全ての人々に信頼されるブランドを確立します。

《行動指針》

挑戦 自由に発想し失敗を恐れず行動します。

収益 継続的な事業発展と利益ある成長を目指し行動します。

C S 顧客満足度を高めるように行動します。

チームワーク 個性を発揮し、信頼される行動をします。

誠実・信頼 虚偽を廃し、信頼される行動をします。

責任 責任を持って最後まで行動します。

会社概要

社名 株式会社イノアックコーポレーション
INOAC CORPORATION

本社 〒450-0003
名古屋市中村区名駅南二丁目13番4号

設立 1954年(昭和29年)

本社(東京) 〒141-0032
東京都品川区大崎二丁目9番3号(大崎ウエストシティビル4F)

資本金 7億2,000万円

事業所および工場 安城、桜井、九州、新城、八名、豊橋、武豊、南濃、西濃

代表 代表取締役 井上聡一

主要営業拠点 東京、中部、大阪、九州(支店)
札幌、東北、浜松、広島(営業所)

社員数 1513名(2013年12月)

研究所 株式会社イノアック技術研究所

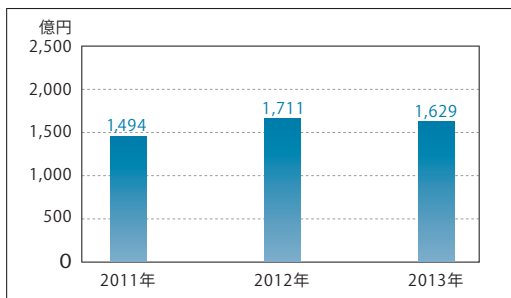
売上高 1629億円(2013年12月)

海外拠点 北米、欧州、中国、韓国、東南アジア

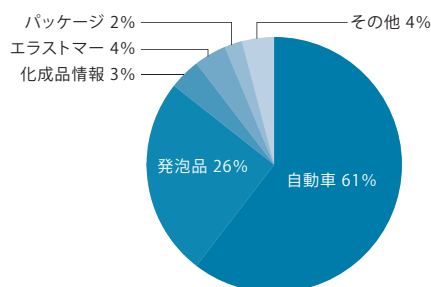
事業内容 ウレタン、ゴム、プラスチック、複合材をベースとした材料開発とその製品化により、自動車、二輪、情報・IT機器、住宅・建設関連から身近な生活関連商品、コスメ用品まで、様々な場面に密着した製品を取り扱う

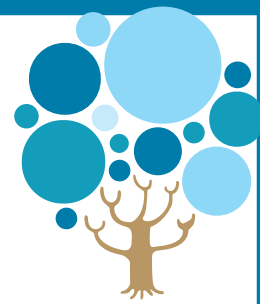
売上

[売上推移]



[2013年度事業分野別売上]

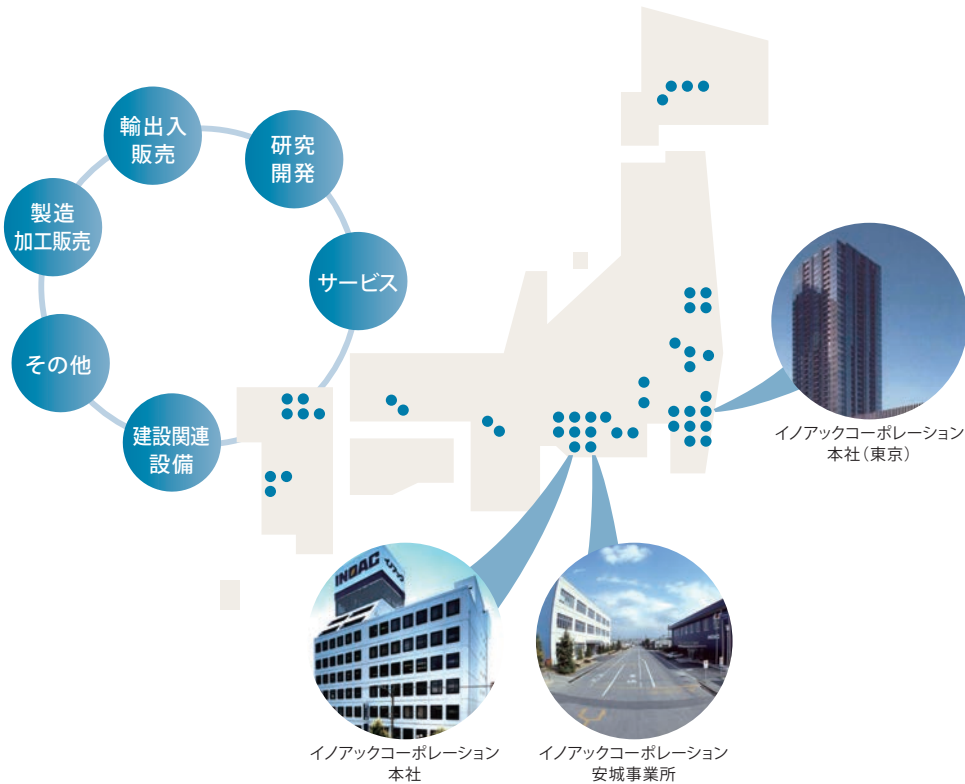




ネットワーク

● 国内主要拠点

イノアックコーポレーションの全国ネットワークに加え、系列・関連・合併会社が北海道から九州まで緊密な生産・販売ネットワーク体制を確立し、最適なソリューションを提供しています。



井上護謨工業(株)
 (株)イノアックインターナショナル
 (株)イノアック技術研究所

《系列会社》

(株)北海道イノアック
 (株)東北イノアック
 (株)東日本イノアック
 イノアックエラストマー(株)
 (株)西日本イノアック
 (株)九州イノアック

《合併会社》

BASF INOAC ポリウレタン(株)
 (株)ロジャースイノアック 他

《関連会社》

(株)イノアック住環境
 日本フクラ(株)
 (株)イノアックリビング 他

● 海外主要拠点

北米・アジアを中心として、全世界14の国と地域で研究開発から素材の加工・成型技術、量産化までを提案・提供する体制を構築しています。

《ヨーロッパ:1社》

ドイツ:1社

《北米・中米:18社》

アメリカ:12社

カナダ:3社

メキシコ:3社

《中国:24社》

中国本土:23社

香港:1社

《アジア:31社》

タイ:14社

台湾:3社

インドネシア:4社

ベトナム:3社

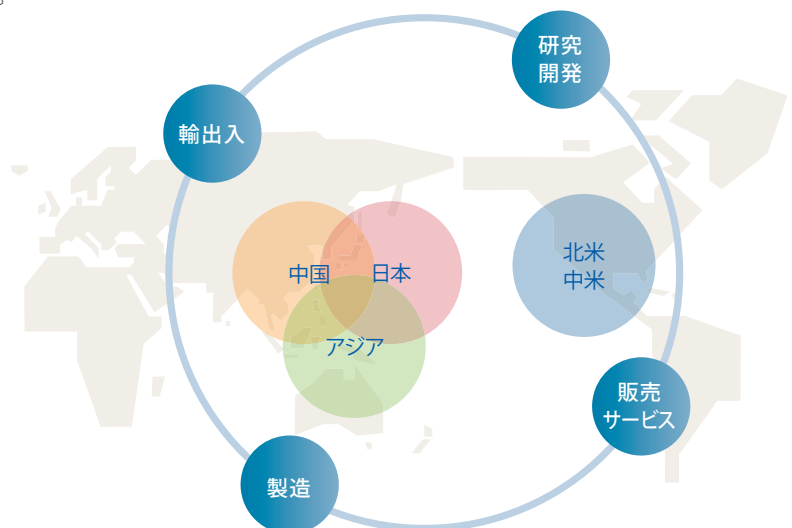
韓国:1社

シンガポール:3社

フィリピン:1社

マレーシア:1社

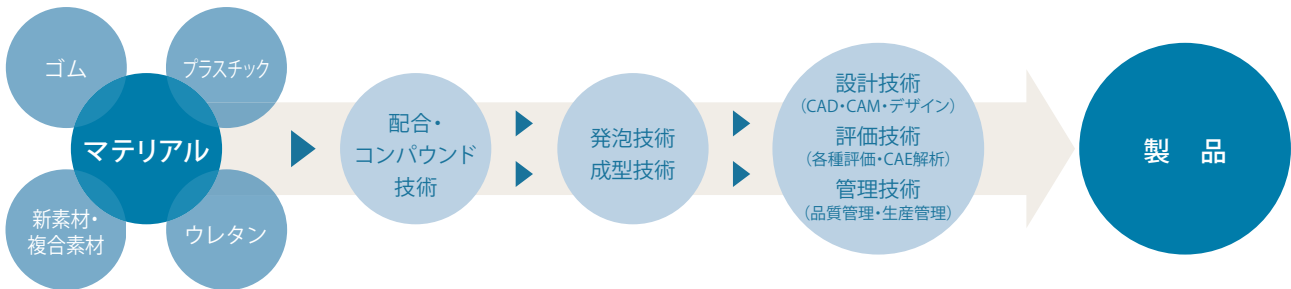
スリランカ:1社



技術革新

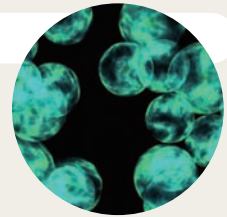
● 研究開発

イノアックでは「暮らしを豊かにする」をモットーに、未来を見据え、創造性にあふれた研究開発に取り組んでいます。ポリマーを主体として各種ウレタン、プラスチックやエラストマーの配合・発泡・成形技術、その他複合材料の技術を駆使し、自動車産業をはじめ情報通信・電子機器・産業資材・生活用品等の幅広い分野で常に新しい素材を提供しています。また同時に、環境負荷の軽減化、軽量化、省エネルギー化、高機能化の新製品、新プロセスの研究・開発を進めています。

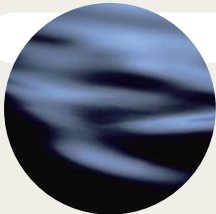


高機能ポリウレタン材料の開発

ポリウレタン樹脂の特徴である独特な反応機構と、それによってもたらされる幅広い機能設計技術と成形加工技術を駆使し、各種ポリウレタン製品の付加価値の向上と、その特徴を有した新しい応用製品の開発を行なっています。



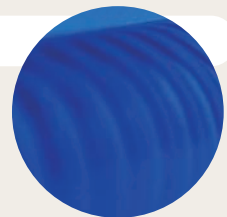
ゴム素材、タイヤの開発



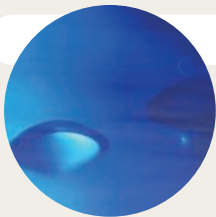
ゴム・エラストマー材料の分子設計、各種添加剤、他材料との複合効果の研究を通じ、各種工業用ゴム製品の性能向上や、新しいニーズに対応した製品の開発を手掛けています。

機能性プラスチック製品の開発

汎用樹脂、エンジニアリングプラスチック等、各種樹脂材料の特徴を把握し、ニーズに合った材料を適切に選択できる知見をベースとして、各種素材の組み合わせによる物性変化について研究し、新規分野の可能性に挑戦しています。



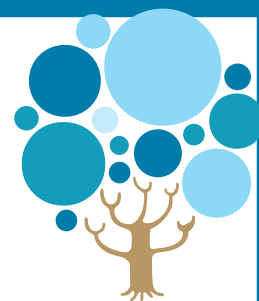
各種高分子材料による新規用途開発



高分子知識や加工技術の応用により、エレクトロニクス、情報機器、自動車、住宅などの用途に向けて、新しく提案できる製品の開発を行っています。

リサイクルおよび環境改善

高分子材料のリサイクルおよび健全な環境づくりに取り組んでいます。



● 研究体制

期待を超えるものづくりの実現のため、産業界の先端領域における新素材の開発を核に、環境技術、ナノ技術、安全技術についての重点的な取り組みをイノアックグループのR&D部門であるイノアック技術研究所で担っています。イノアック技術研究所は中国 (ITC CHINA)、アメリカ (ITC USA)、タイ (ITH) にも拠点を持ち、4極で作用しあえる総合R&D部門としてグローバルなネットワークで国内外の新技术に関する情報をいち早く収集し、中・長期的視点から、新規事業主体の研究開発に取り組んでいます。

またイノアックコーポレーショングローバル技術開発本部にあるゴム・エラストマー、オレフィン、ウレタン、特殊ウレタン、化成品、プロセスの各技術部ではマーケットニーズに直結した技術開発に取り組み、短・中期的視点から、各部門との連携により幅広い素材の選択肢を活かした、既存事業分野主体での技術開発を行っています。

